

平成18年度第1回北海道ブロック協議会
第1回北海道代協常任理事会

議 事 録

平成18年4月26日(水)pm 1:00~5:00

於: 北海道厚生年金会館 玉葉の間

出席者

本部常任委員	高梨重勝	函館	常任理事	羽田武史	帯広	企画環境	林 昌宏	旭川
会長	向出明彦	札幌	常任理事	富田明久	苫小牧	組織	多和康司	千歳
副会長	阿部 實	札幌	常任理事	工藤龍蔵	室蘭	地球環境	梅基伸男	札幌
副会長	長谷部幹夫	旭川	常任理事	森 優	旭川	年金基金	見上峰夫	札幌
副会長	長谷川勇	帯広	常任理事	長尾忠正	釧路	教育	壽時康二	札幌
副会長	山本 宏	釧路	常任理事	鈴木雅裕	小樽	監事	羽山和広	帯広
専務理事	町野泰明	札幌	広報	坂本和正	札幌	事務局長	末原正二	札幌
常任理事	松浦則雄	函館	支部事業財務委員長	山崎善仁	札幌	事務局員	藤田和代	札幌

司 会 専務理事 町野泰明

1、開会の辞(阿部 實)

2、会長挨拶(向出明彦)

保険会社の不祥事が露見しているが最近パンフレット表記不備が指摘されている。

来年11月から、保険商品が銀行窓販、全面解禁となるが代協としては更なる阻止運動を展開し、少しでも遅らせるべく活動を続けたい。

3、日本代協常任理事挨拶(高梨重勝)

17年度全国単位代協、会員増強運動において、北海道代協は全国2番目の増員をしていただき、感謝している。

単位代協の法人化に向けて議論を進めているが、モデルケースとして法人化を進めた単協がある。全国を見るとまだまだ会員数を考えると法人化が困難な単協がある。

4、倫理綱領の朗読(見上峰夫)

5、議 題

議長には山本 宏副会長(釧路)が選任され承認された。

、報告事項

支部活動、及び予定報告

会議資料を参照

日本代協理事会報告(2/16.17)(向出明彦)

議事録参照

日本代協常任理事会報告(4/13.14)(高梨重勝)

議事録参照

日本代協委員会報告

() 組織委員会(多和康司)

- 2/2 に本部第4回組織委員会が開かれた。北海道代協の会員推移は会議資料を参照
- 北海道代協は年初の会員目標数を達成した。本部より表彰がある。
- 18年度は12,300会員を目標とする。
- マニュアルを作成し組織率を高めていく
- 地震保険普及キャンペーンを実施している。
- メール化100パーセントの推進、全国においては64.1%である。

()国民年金基金推進委員会(見上峰夫)

- 2/23 代議員会議が本部にてあった。
- H4 設立15年を迎え、16単協を4ブロックにわけ3年間のキャンペーンをし、賞金も出して、増収を図る。

()地球環境委員会(梅基伸男)

- 特になし

()企画環境委員会(林 昌宏)

- 1/6 本部会議が開かれた。
- 保険代理士の国家資格昇格の件、代理店賠償の件(64.4%の加入)、事故原因分析の冊子の配布、消費者団体との懇談会、募集環境ハンドブックの配布

、審議事項

[1] 北海道代協総会について(町野泰明)

平成17年度事業報告

平成17年度会計報告

平成18年度事業報告(案)

平成18年度会計予算(案)

以上会議資料どおり上程することが承認された。

<:検討事項>

北海道代協会員の名簿を作ってはどうか(向出明彦)

会員の存在感、他支部の会員が解かる、新会員の勧誘に資料となる、などの理由で作成したい。入退会が多いので3年に1度くらいのペースで。

ホームページのコンテンツを充実したらどうか

ホームページ掲載は、個人情報保護法等の問題があるので掲載をして良いかの検

討が必要である、確認が必要。

記念周年に作成してはどうか。

「代協ニュース」の郵送を廃止してはどうか

費用面から郵送を廃止し、メール等で配送を検討してはどうか。

全道的にメールアドレスの確認は6割強であり、時期が尚早ではないか。

ホームページの充実を予算を組んで図り、しばらくは併行して配紙したらどうか。

[2]役員改選(長谷部幹夫)

総会に向けて各支部の代議員名を提出してもらいたい。期日は5月末までとする。

18年度各支部の代議員数は下記のとおり

札幌	13	小樽	2	函館	6
室蘭	2	苫小牧	3	釧路	7
旭川	8	千歳	2	帯広	5
				合計	48

18年度は役員改選期にあたり、規約により各支部の理事(案)の推薦をしてもらいたい。期日は5月末までとする。

18年度各支部の理事(案)数は下記のとおり

札幌	9	小樽	1	函館	4
室蘭	1	苫小牧	2	釧路	4
旭川	5	千歳	1	帯広	3
				合計	30

支部で「理事会」との名称で報告があるが、支部設置規定により、次回より「幹事会」と統一する。

各支部総会日

札幌	5/19	小樽	5/17	函館	終了
室蘭	5/20 過ぎ	苫小牧	終了	釧路	5/23
旭川	5/22	千歳	5/18	帯広	5/12

[3]政治連盟会員の募集と会費について(町野泰明)

会議資料参照

[4]日本代協保険大学第9期募集について(壽時康二)

会議資料参照

募集期間7月31日まで

各支部の目標

札幌	10	小樽	1	函館	5
室蘭	1	苫小牧	2	釧路	5
旭川	6	千歳	2	帯広	4
				合計	36

[5]収益事業について(向出明彦)

平成20年度単協の法人化に向け、北海道代協の財政を補完する意味で、早々に収益事業の組織を設立してはどうか。

設立の趣旨が明確ではない

事業において利益の確保に展望があるのか

代協において「紹介料」等が、ある程度確保できてからでも事業として考えたかどうか

本部の「収益事業研究会」においては時期尚早との事。

会員のための事業であって、メリットは会員に還元できるものとすべき

18年度総会には時期尚早として議題にはあげない。

[6]その他

「法制研究会」で検討している事項

資料参照

「ウィットネス社」契約書

資料参照

本部会員増強キャンペーン報奨金5万円は目標達成支部「札幌、函館、釧路」に分配する。

閉会の辞(長谷部幹夫)